

2021年2月9日
一般社団法人Jミルク

日欧の比較通し、持続可能な酪農考える 3月「酪農乳業の国際比較研究会」オンラインで

一般社団法人Jミルクは、2021年3月26日に「2020年度 酪農乳業の国際比較研究会」をオンラインで、下記の要領で開催します。

テーマは「持続可能な酪農の形成プロセスを考える！～ヨーロッパと日本を比較しながら～」（仮題）です。

わが国の酪農乳業の持続可能な発展方向について、これまで以上に議論を深める観点から、昨年度から継続する持続的酪農に関する国際調査研究で得られた成果を二つ報告し、その情報を基礎に、「持続可能な酪農が生まれるプロセスと条件、支援上の課題」について、日本と欧州の取り組みを素材に比較検討いたします。

本研究会は2014年度から毎年、秋ごろに開催しておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大に対応し、本年度は、年度末にオンライン開催といたします。

記

- 日 時：2021年3月26日（金） 13:30～16:00 予定
- 実施方法：Zoom ウェビナーで開催（後日のオンデマンド配信はYouTubeを予定）
- 対 象：酪農乳業関係者、研究者、行政関係者、メディアなど
- 申し込み方法：
下記のURL（Google フォーム）からお申し込みください。後日、事務局から視聴用URLをご連絡いたします。

<https://forms.gle/hhzZRGFQQiiNNYj2A>

※Google フォームをご利用できない場合は、Jミルクホームページ（<https://www.j-milk.jp/gyokai/seminar/h4ogb4000005blv.html>）をご参照いただき、メールでお申し込みをお願いいたします。

■ 開催プログラム（予定）

【講演】 13:30～

講演 1：「消費者（市民）が支持する持続的酪農の姿～国際比較～」

報告者：名古屋大学大学院准教授 竹下 広宣氏

講演 2：「酪農家は自らの持続性をどのように構築したか～オランダの事例から～」

報告者：秋田県立大学教授 岡田 直樹氏

【パネルディスカッション】 14:30～

テーマ：「持続可能酪農を巡る人々の繋がりをどのように産み出すかーヨーロッパと日本の事例から（仮題）」

論点整理：福島大学農学群 食農学類長 教授 生源寺 眞一氏

登壇者：

モデレーター 生源寺 眞一氏（福島大学食農学類長・教授）

パネリスト 竹下 広宣氏（名古屋大学大学院生命農学研究科准教授）

岡田 直樹氏（秋田県立大学生物資源科学部教授）

木村 純子氏（法政大学経営学部教授）

清水池 義治氏（北海道大学大学院農学研究院農業経済学分野講師）

他

以 上

※詳細はJミルクホームページ（<https://www.j-milk.jp/>）でも掲載しています。

【本件に関するお問い合わせ先】

一般社団法人Jミルク

国際グループ

東京都千代田区神田駿河台 2-1-20 お茶の水ユニオンビル 5階

電話：03-5577-7495